



きょうぎん

MINI DISCLOSURE


THE SAGA KYOEI BANK, LTD.

2015 ミニディスクロージャー

【平成27年3月期 営業のご報告】

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

お客さまと未来へ。
マイ・パートナー・バンク

 佐賀共栄銀行

はじめに

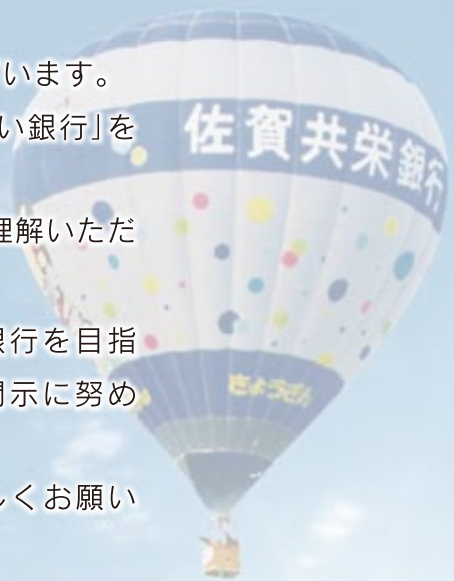
いつも佐賀共栄銀行をご利用いただきまして誠にありがとうございます。

当行は、多くの皆さまに親しまれる「地域に根ざした面倒見の良い銀行」を目指しております。

このディスクロージャー誌は、現在の“きょうぎん”の姿をご理解いただくために、できるだけわかりやすく、具体的に説明したものです。

今後とも、皆さまに安心してお取引いただける健全性の高い銀行を目指してまいりますとともに、経営内容等について適時適切な情報開示に努めてまいります。

引き続き、“きょうぎん”をご愛顧いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。



当行の概要

(平成27年3月31日現在)

商号	株式会社 佐賀共栄銀行 (THE SAGA KYOEI BANK,LTD.)
設立	昭和24年12月
本店所在地	佐賀市松原四丁目2番12号
預金	2,172億円
貸出金	1,718億円
店舗数	35店舗
行員数	400名



目次

はじめに	1
当行の概要	1
経営理念・当行の目指す銀行像	2
第十一次中期経営計画	2
業績ハイライト	3~4
お客さまに対する コンサルティング機能の発揮	5
地域貢献への取り組み	6~7
商品のご案内	8
財務諸表	9
役員・株式のご案内・株式の状況	10
充実のATMネットワーク拡充を目指して	10
店舗案内	11

経営理念

地域と共に栄える銀行

当行の目指す銀行像

地域に根ざした
面倒見の良い銀行

第十一次中期経営計画 【平成27年4月～平成30年3月(3ヶ年)】

経営計画テーマ

お客さまと未来へ。

マイ・パートナー・バンク きょうぎん Next Stage



第十一次中期経営計画でのテーマは、「お客さまとともに、明るい未来を切り拓きたい」、「お客さまの生涯のパートナー・バンクとして、当行を選んでいただきたい」との強い思いを表したもので、第十次中期経営計画に引き続き採用しております。

経営課題

地域活性化
への貢献

人材育成
の強化

収益基盤
の拡大

地域活性化に向けた各種プロジェクトに主体的に参画するとともに、お客さまのライフステージに応じた支援を行います。

お客さまへのコンサルティング能力発揮のため、専門知識の習得に努めます。

お客さまとの接点の拡大と目利き能力の向上を通じて、商品・サービスの質の向上を図り、地域シェアの拡大を目指します。

本期間中は、「地域活性化への貢献」、「収益基盤の拡大」、「人材育成の強化」を経営課題として、目指す姿である「地域に根ざした面倒見の良い銀行」の実現に向け、役職員一丸となって取り組んでまいります。

業績ハイライト

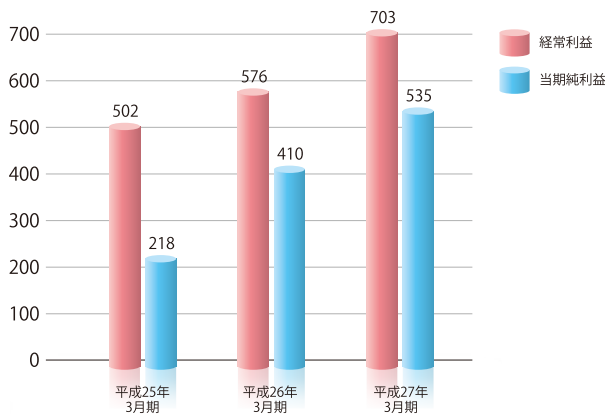
1. 収益の状況

経常収益は、株式等売却益が前年度を上回った一方で、国債等債券売却益や有価証券利息配当金等が前年度を下回ったことにより、前年度比32百万円減少し、59億52百万円となりました。

経常費用は、貸倒引当金繰入額の減少等により、前年度比1億60百万円減少し、52億48百万円となりました。

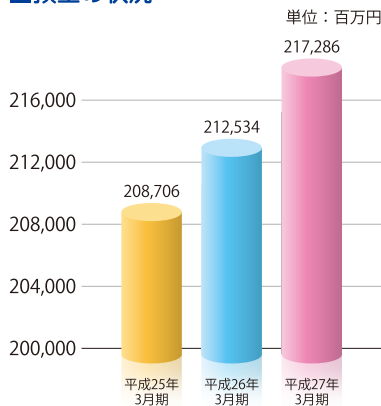
この結果、経常利益は、前年度比1億27百万円増加し、7億3百万円となりました。当期純利益は、前年度比1億25百万円増加し、5億35百万円となりました。

単位：百万円



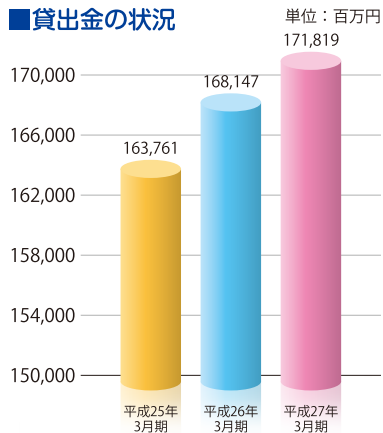
2. 預金・貸出金の状況

■預金の状況



預金につきましては、個人および法人預金の増加により、前年度末比47億51百万円増加し、2,172億86百万円となりました。

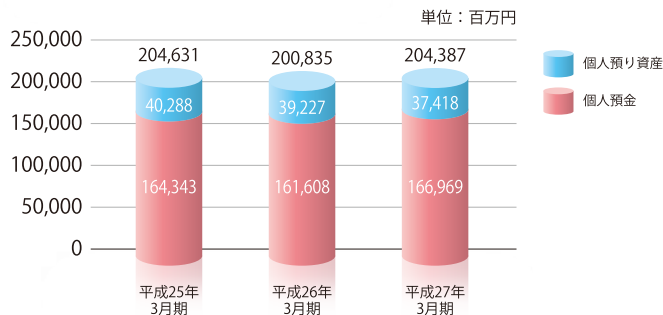
■貸出金の状況



貸出金につきましては、事業者向け貸出の増加により、前年度末比36億72百万円増加し、1,718億19百万円となりました。

3. 個人預金と個人預り資産の状況

個人預金と個人預り資産の合計残高につきましては、個人預金の増加により、前年度末比35億52百万円増加しました。



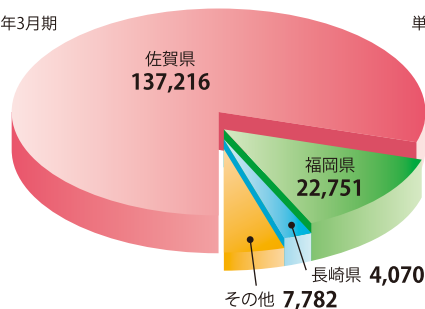
■備考：記載金額、比率は、単位未満を切り捨てて表示しております。

業績ハイライト

4. 佐賀県内への貸出

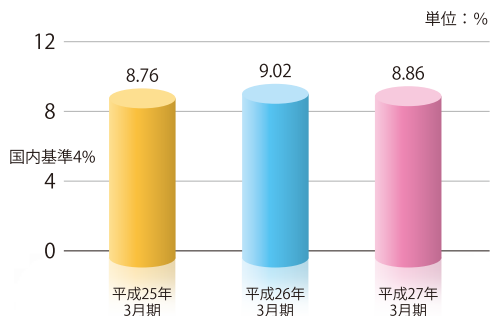
佐賀県内への貸出金は、1,372億16百万円であり、貸出金の79.9%が地元向け貸出金となっております。

平成27年3月期 単位：百万円



5. 自己資本比率

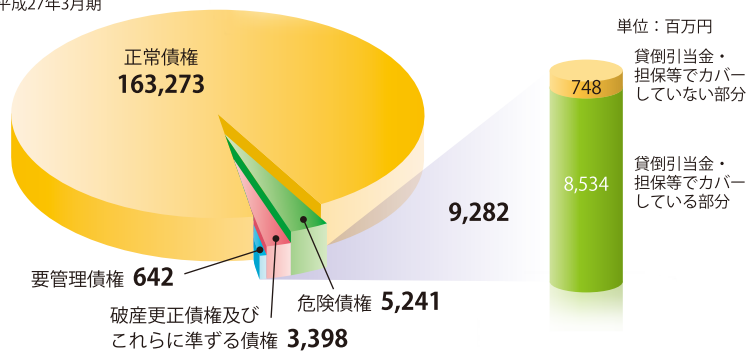
自己資本比率は、8.86%となりました。
 なお、平成26年3月期よりバーゼルⅢ（新基準）にて算出しております。
 自己資本比率は、国内基準で必要とされている4%を大幅に上回る水準を長年に亘り維持しており、経営の健全性は高く、安心してお取引いただける水準にあります。
 当行は、今後とも財務基盤の強化に努めてまいります。



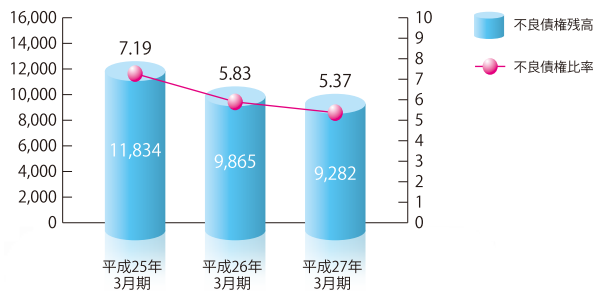
6. 不良債権の状況

当行は、「地域と共に栄える銀行」を経営理念としており、地域経済への貢献に重点を置いて、取引先企業の経営改善及び再生支援に注力するとともに、不良債権の圧縮に努めております。
 平成27年3月末の不良債権（金融再生法開示債権）残高は、92億82百万円であり、総与信に対する割合は5.37%です。不良債権（金融再生法開示債権）残高の内91.93%は貸倒引当金や担保等でカバーされております。

平成27年3月期



不良債権の推移 単位：百万円、%



■備考：記載金額、比率は、単位未満を切り捨てて表示しております。

金融再生法に基づく開示基準の概要

- ◆総与信…貸出金、外国為替、支払承諾見返、未收利息、仮払金、貸付有価証券
- ◇破産更生債権及びこれらに準ずる債権…経営が破綻した取引先への債権
- ◇危険債権…経営状態が悪化し、経営は破綻していないまでも約定どおりに返済できない可能性が高い取引先への債権
- ◇要管理債権…元金または利息の支払が3か月以上遅れている貸出金と、貸出条件を緩和している債権(上記2債権を除く)

お客さまに対するコンサルティング機能の発揮

当行は経営理念である「地域と共に栄える銀行」を基に、「地域に根ざした面倒見の良い銀行」となるため、積極的に金融仲介機能を発揮し、経営相談や経営改善支援を含む地域密着型金融の推進により、地域社会へ貢献することに努めてまいります。

中小企業金融円滑化法の期限到来後も当行における金融円滑化の対応方針に変わりはありません。これまでと同様、お客さまからの資金需要や貸付条件の変更のお申し込み等に対して適切に対応するように努め、また経営課題の解決に向けた積極的な支援等も適切に行ってまいります。

中小企業者の経営支援に関する取り組み

お客さまからの経営改善等に関するご相談に対しては、営業店と本部所管部が連携のうえ、お客さまのライフステージ(創業、成長、再生、承継等)に応じた最適なソリューションの提案、助言等の細やかな支援活動を行うことにより、コンサルティング機能の発揮に努めてまいります。

中小企業者の経営支援に関する態勢整備

当行は、お客さまの経営改善を行うため、次の外部専門家・外部機関等と連携して対応しております。

1. 佐賀県信用保証協会
2. 佐賀県中小企業再生支援協議会
3. 佐賀県経営改善支援センター
4. 中小企業基盤整備機構
5. 佐賀県中小企業診断協会
6. 佐賀県地域産業支援センター
7. 佐賀県よろず支援拠点(with-Biz SAGA)
8. 地域経済活性化支援機構(REVIC)
9. さが事業再生ファンド
10. その他の経営革新等支援機関

中小企業者の経営支援に関する取り組み状況

①創業・新規事業開拓の支援

- ・佐賀県地域産業支援センター、中小企業基盤整備機構等と連携し、創業支援等に取り組んでおります。
- ・「きょうぎん再生可能エネルギー支援貸付」により、再生可能エネルギーに対し積極的に取り組んでおります。
- ・補助金や制度融資等の情報を発信しております。

②成長段階における支援

- ・行内ネットワークやB-N-E-T(第二地方銀行協会加盟行間の情報交換制度)等を活用したビジネスマッチング機会の提供を行っております。
- ・私募債、A B L(動産・債権譲渡担保融資)など、多様な資金供給方法の提供を行っております。

③経営改善・事業再生・業種転換等の支援

お客さまの財務状況等の継続的な把握と事業等の改善に向けた提案や対応の実施、及び必要性に応じて外部専門家・外部機関等との連携・活用による経営改善計画策定支援や事業改善支援を行っております。

地域の活性化に関する取り組み状況

中小企業基盤整備機構や株式会社日本M&Aセンター等の外部機関と連携し、事業継承やM&Aの支援に取り組んでまいります。また、医療・介護・農業・再生可能エネルギーなどの成長分野への支援等も積極的に取り組んでまいります。

地域貢献への取り組み

「きょうぎん無料年金相談会」開催中

社会保険労務士を招聘し、今後、年金をお受け取りになられる方を対象として「きょうぎん無料年金相談会」を定期的で開催しております。年金請求手続きや各種書類記入方法、年金受取の時期や金額等、年金全般に関する相談をお受けしており、毎回好評をいただいております。

今後もお客さまからの様々なご相談にお応えできるよう努めてまいります。



「きょうぎん未来基金」助成金の贈呈



「きょうぎん未来基金」は、当行が県内の様々な分野の社会貢献活動に役立てていただくため、公益財団法人佐賀未来基金を通じて創設した基金です。

「きょうぎん未来定期預金」としてお預け入れいただいた金額に、一定割合を乗じた金額を助成金として、平成26年12月及び平成27年5月に佐賀県内の13団体に贈呈しました。

地方創生への取り組み

平成27年4月1日に営業統括部を担当事務局として、担当役員である常務取締役を「地方創生統括責任者」に、県内の各営業店長を「地方創生サポーター」とする行内体制を整備しております。今後、各地方公共団体が策定する「地方版総合戦略」の策定および円滑な施策の実施に積極的に参画することにより、地域経済の持続的な発展および地域の活性化に貢献してまいります。

「きょうぎんビジネスクラブ」の開催

平成27年2月10日に、「きょうぎんビジネスクラブ」ビジネスプラン発表会・講演会・交流会を開催し、約100名のお客さまにご参加いただきました。

発表会では、株式会社セリタ建設様、株式会社炭化様および株式会社リブハウス様に自社のビジネスプランについて熱弁を振るっていただきました。

また、講演会では、経済ジャーナリストの内田裕子氏から、「人口減少に負けない地方経済」と題し、現状認識を正しくすることの重要性や情報の多様化などについてご講演を賜りました。

きょうぎんビジネスクラブでは、今後も講演会や交流会等を通じて、地域の皆さまのお役に立つ経営情報の提供に努めてまいります。



地域貢献への取り組み

● 「きょうぎん絆塾」の開催

平成27年4月10日に、地元の「若手経営者・次世代経営者」の皆さまを対象に第4回「きょうぎん絆塾」講演会・交流会（後援：佐賀商工会議所）を開催し、約80名のお客さまにご参加いただきました。

講演会第1部では、九州経済産業局の田中幸仁総括係長から「中小企業施策について」と題し、経営に役立つ中小企業施策の情報を提供していただきました。また講演会第2部では、佐賀商工会議所の吉野英明担当部長から、「次世代経営者へのエール」と題し、企業経営のヒントをいただくとともに、若手経営者の皆さまに熱いエールを送っていただきました。



今後も地元の「若手経営者・次世代経営者」の皆さまのお役に立つため、きょうぎん絆塾を継続的に開催いたします。

● 公益財団法人佐賀未来創造基金及び一般社団法人市民生活パートナーズとの包括協定の締結

平成27年3月24日、公益財団法人佐賀未来創造基金及び一般社団法人市民生活パートナーズとの間で、「市民生活及び市民活動の包括的支援に関する協定」を締結しました。

この協定により、当行と佐賀未来創造基金及び市民生活パートナーズが有する機能を相互に提供し、定年を迎えられる皆さまを対象とした「ハッピーリタイア準備塾」の開催等の共同事業を継続的に実施していくことで、市民が安心して暮らし、生き生きと活動できる社会づくりに貢献してまいります。

● 地域の皆さまとのふれあい

近隣の小学校の社会科見学を受け入れ、模擬紙幣を使った札勘定体験等により、銀行の仕事を楽しく学んでいただきました。

また、各地の地域行事に積極的に参加し、地域の皆さまとの交流を図っております。



商品のご案内

● 無担保ローン商品の改定

平成26年10月30日に、「きょうぎんフリーローンMORE」および「きょうぎんオートローンプラス」を、平成26年11月17日には、「きょうぎんフリーローン スーパーベスト」を商品改定しました。

今回の改定により、お申込可能年齢やご融資金額の引き上げを行い、お客さまにより一層ご利用していただきやすい内容としました。現在、好評販売中です。

● 「きょうぎん未来定期預金」キャンペーン

平成27年6月15日～平成27年9月30日までの約3ヶ月間、個人のお客さまを対象とした、金利上乗せ定期預金「きょうぎん未来定期預金」を好評発売中です。

お預け入れ金額は、1万円以上1,000万円未満で、お預け入れ期間は、1ヶ月～5年間です。

なお、本定期預金のお預入金額に0.025%を乗じた金額について、地域貢献のために寄付を行います。(お客さまのご負担はありません)

● 「きょうぎんインターネット・モバイルバンキングサービス」の無料化

平成27年6月1日から、インターネット・バンキングを活用したお取引を、広くお客さまに提供させていただくため、個人のインターネット・バンキングの基本手数料を無料化しました。今後もお客さまへの各種サービスの提供、利便性向上に努めてまいります。

■ 各商品の詳細は、当行の店頭・ホームページ等でご確認ください。

貸借対照表

(平成27年3月31日現在)

(単位:百万円)

科 目	平成27年3月期
【資産の部】	
現金預け金	9,737
商品有価証券	3
有価証券	62,423
貸出金	171,819
その他資産	541
有形固定資産	3,943
無形固定資産	78
支払承諾見返	635
貸倒引当金	△ 4,346
資産の部合計	244,835
【負債の部】	
預金	217,286
借入金	10,035
社債	800
その他負債	795
賞与引当金	95
役員退職慰労引当金	193
睡眠預金払戻損失引当金	103
繰延税金負債	725
再評価に係る繰延税金負債	397
支払承諾	635
負債の部合計	231,068
【純資産の部】	
資本金	2,679
資本剰余金	1,259
利益剰余金	6,433
自己株式	△ 57
その他有価証券評価差額金	2,756
土地再評価差額金	695
純資産の部合計	13,766
負債及び純資産の部合計	244,835

貸借対照表とは？

企業の財政状況を表したものです。「資産の部」で資金をどのように運用しているのかを表し、「負債の部」、「純資産の部」で資金をどのように調達したかを表しています。

資産の部とは？

「貸出金」、「有価証券」など、資金の運用や保有財産の状況を示しています。

負債の部とは？

「預金」、「賞与引当金」などの資金の調達や引当金の状況を示しています。

純資産の部とは？

株主の皆さまから出資いただいている「資本金」、これまで蓄えてまいりました「利益剰余金」等を示しています。

損益計算書

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(単位:百万円)

科 目	平成27年3月期
経常収益	5,952
資金運用収益	4,637
貸出金利息	3,540
有価証券利息配当金	1,082
役員取引等収益	586
その他業務収益	113
その他経常収益	615
経常費用	5,248
資金調達費用	206
預金利息	176
役員取引等費用	512
その他業務費用	3
営業経費	4,151
その他経常費用	374
経常利益	703
特別利益	315
特別損失	115
税引前当期純利益	903
法人税等合計	367
当期純利益	535

損益計算書とは？

企業の経営成績を表したものです。営業活動の結果、どのようにして利益をあげたものかを表しています。

経常収益とは？

銀行の通常業務で発生する収益を表したもので、一般企業の「売上高」にあたります。

経常費用とは？

銀行の通常業務で発生する費用を表したものです。

経常利益とは？

銀行の通常業務での利益を表したもので、経常収益から経常費用を控除した利益のことです。

当期純利益とは？

経常利益から特別損益及び税金費用を考慮して算出したもので、銀行は当事業年度中に得た利益となります。

■備考:記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

役員・株式のご案内・株式の状況

役員 (平成27年4月1日現在)

取締役頭取 (代表取締役)	二宮 洋二
取締役副頭取 (代表取締役)	松尾悠一郎
専務取締役 (代表取締役)	井手 一文
常務取締役	平松 正一
取締役	大島 英明
取締役	武藤 明彦
取締役	宮崎 英喜
常勤監査役	坂本 信彦
監査役	山本 満
監査役	江崎 匡慶

株式の状況 (平成27年3月31日現在)

発行済株式総数 22,034,500株

平成27年3月31日現在株主数 1,276名

株式のご案内

- ・事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- ・定時株主総会 毎年6月
- ・配当金
 - ①期末配当金は毎年3月31日の最終の株主名簿に記載された株主または登録株式質権者に対し、定時株主総会終了後ご指定の方法によりお支払いいたします。
 - ②中間配当金をお支払いする場合は、取締役会の決議により、毎年9月30日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に対し、ご指定の方法によってお支払いいたします。
- ・基準日
定時株主総会の基準日については3月31日といたします。その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
- ・株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
- ・同事務取扱場所 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
電子公告により行います。(<http://www.kyogin.co.jp/>)
但し、やむを得ない事由が生じたときは、佐賀新聞および西日本新聞に掲載いたします。
- ・同取次所
- ・公告方法

充実のATMネットワーク拡充を目指して

出張や
旅行の時
でも

きょうぎんのキャッシュカードなら

全国のゆうちょ銀行・郵便局ATMで使えます!

近くの
郵便局で

お引き出し・お預入れ
平日 8:45~18:00

手数料無料!

セブン
銀行で

全国の  セブン銀行ATMで使えます!

全国で
対応!

お引き出し・お預入れ 平日 8:45~18:00

手数料無料!

お引き出し

ほぼ24時間!



当行ATMにおきましても順次機能の拡充に努めてまいります。

店舗案内



- | | | | | | |
|------------------------------|--------------|------------------------------|--------------|-----------------------------|--------------|
| ① 本店営業部 佐賀市松原4-2-12 | 0952-26-0861 | ⑬ 小 城 支 店 小城市小町新小路274-1 | 0952-73-3151 | ⑲ 江 北 支 店 杵島郡江北町大字山口1355-1 | 0952-86-3141 |
| ② 本店営業部 水ヶ江出張所 佐賀市水ヶ江2-16-65 | 0952-24-0168 | ⑭ 神 崎 支 店 神崎市神崎町田道ヶ里2270-1 | 0952-52-4215 | ⑳ 福 富 支 店 杵島郡白石町大字福富1420 | 0952-87-3651 |
| ③ 佐大通り支店 佐賀市本庄町大字本庄213-1 | 0952-23-2279 | ⑮ 千代田支店 神崎市千代田町直島444-1 | 0952-44-3581 | ㉑ 唐 津 支 店 唐津市本町1950 | 0955-73-4161 |
| ④ 木 原 支 店 佐賀市木原3-4-1 | 0952-24-4101 | ⑯ 鳥 栖 支 店 鳥栖市蔵上2-164 | 0942-82-4188 | ㉒ 多 久 支 店 多久市北多久町大字小侍1089-6 | 0952-75-3151 |
| ⑤ 神 野 支 店 佐賀市神野東2-2-1 | 0952-31-0121 | ⑰ 江 見 支 店 三養基郡みやき町大字市武1419-8 | 0942-96-3355 | ㉓ 伊 万 里 支 店 伊万里市新天町522-2 | 0955-23-2181 |
| ⑥ 佐賀北支店 佐賀市高木瀬西5-14-1 | 0952-31-3315 | ⑱ 三田川支店 神崎郡吉野ヶ里町吉田839-1 | 0952-53-1086 | ⑳ 有 田 支 店 西松浦郡有田町本町丙1066 | 0955-42-5111 |
| ⑦ 若 宮 支 店 佐賀市若宮2-12-1 | 0952-31-7731 | ㉀ 基 山 支 店 三養基郡基山町大字宮浦257-10 | 0942-92-1232 | ㉔ 福 岡 支 店 福岡市博多区綱場町7-1 | 092-281-2236 |
| ⑧ 兵 庫 支 店 佐賀市兵庫南2-15-38 | 0952-29-3857 | ㉁ 弥生が丘支店 鳥栖市弥生が丘2-13 | 0942-82-8151 | ㉕ 久 留 米 支 店 久留米市原古賀町28-10 | 0942-33-3168 |
| 【きょうぎんプラザコンシェルジュ兵庫】 | | 【きょうぎんプラザコンシェルジュ弥生が丘】 | | ㉖ 飯 倉 支 店 福岡市早良区飯倉7-32-10 | 092-871-2833 |
| ⑨ 佐賀西支店 佐賀市長瀬町3-3 | 0952-24-0361 | ㉂ 武 雄 支 店 武雄市武雄町大字富岡7776-12 | 0954-22-3165 | ㉗ 大 野 城 支 店 大野城市若草3-2-18 | 092-596-5639 |
| ⑩ 大 和 支 店 佐賀市大和町大字尼寺1326-1 | 0952-62-1256 | ㉃ 嬉 野 支 店 嬉野市嬉野町大字下宿乙2202-62 | 0954-43-1210 | ㉘ 佐 世 保 支 店 佐世保市島瀬町7-17 | 0956-23-0171 |
| ⑪ 川 副 支 店 佐賀市川副町大字鹿江628-3 | 0952-45-1345 | ㉄ 鹿 島 支 店 鹿島市大字高津原4400-1 | 0954-62-4146 | | |
| ⑫ 三 瀬 支 店 佐賀市三瀬村三瀬2769-10 | 0952-56-2310 | ㉅ 白 石 支 店 杵島郡白石町大字甘治1556-2 | 0952-84-3631 | | |

きょうぎん

【編集部】 佐賀共栄銀行 総合企画部

〒840-0831 佐賀市松原四丁目2番12号

TEL 0952-26-2161 (代表)

URL <http://www.kyogin.co.jp/>